

2012年1月27日

報道関係者各位

PCAアセット・マネジメント株式会社

PCAアセット
イーストスプリング・
インドネシア債券オープン（毎月決算型）
追加型投信/海外/債券

新規設定

～ イーストスプリング・インベストメンツとして初の新規設定 ～

PCAアセット・マネジメント株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO フェリックス・パン(龍万成))は、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」を新規に設定します。2012年2月14日(火)から2012年2月28日(火)までを当初申込期間とし、2012年2月29日(水)を設定日として運用を開始する予定です。PCAアセットは、2012年2月14日(火)に社名をイーストスプリング・インベストメンツ株式会社に変更する予定となっており、本ファンドは新社名に変更後初めての新規設定ファンドとなります。

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」はファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、主として、インドネシアの国債、政府保証債、政府機関債、準国債*1、地方債および社債*2等に実質的に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。当ファンドの主な魅力は次の3点です。

■ 「イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算型)」の魅力 ■

1) インドネシア経済の成長力

インドネシアは世界経済のけん引役として存在感が高まる中国、インドと地理的に近く、これらの国々の経済発展の好影響も受けながら、GDPは年々増加しています。インドネシアの目覚ましい経済発展は、

- a) 若年層に厚みのある世界第4位の人口を背景とした国内消費の拡大
- b) 原油、錫、天然ガスなどの豊富なエネルギー資源やパーム油や天然ゴムなどの農産物等の輸出の拡大

という内需と外需の両輪に支えられており、世界の中でも今後も高い経済成長が期待できる魅力的な投資先として注目されています。

PRESS RELEASE

2) 魅力あるインドネシア債券

a) 相対的に高い利回り水準

インドネシア国債(自国通貨建て)の利回りは先進主要国の国債利回りに比べて相対的に高い水準にあります。またインドネシアの政策金利も同様に比較的高い水準で推移しております。

b) 拡大傾向にある債券市場

インドネシア債券市場は時価総額ベースで見ると順調に拡大しており、高い流動性を有しています。また経済発展にともない、近年は社債の発行額も増えてきています。

c) 国債格上げに対する期待

アジア通貨危機時には、インドネシア国債の格付けは大きく引き下げられました。しかし、2002年以降は経済発展等を受け財政状況の改善が進み、大手格付け機関は段階的に格付けを引き上げてきました。2012年1月18日には格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスがインドネシアの外貨建ておよびルピア建ての長期国債格付けを「Ba1」から投資適格となる「Baa3」に引き上げたを発表しました。

3) インドネシアに強い運用体制

a) アジア有数の資産運用会社が運用

当ファンドを運用するイーストスプリング・インベストメンツ・グループ(2012年2月14日付で本名称に変更予定)は世界的な金融サービスグループである英国プルデンシャル社^{*}のアジアにおける資産運用事業部門としてインドネシアを含むアジアでの長い投資経験を有しています。2011年9月30日時点での運用資産総額は約800億米ドルに達し、アジアにおける最大級の資産運用会社のひとつとなっています^{*3}。

b) インドネシア市場における豊富な運用経験

日本においては2009年11月より「PCAインドネシア株式オープン」を提供するとともに、日本の投資家の皆様へインドネシア市場に関する積極的な情報提供をおこなって参りました。同ファンドは2011年12月末時点の純資産総額が454億円(本日時点での取り扱い販売会社数32社)と、国内最大のインドネシア株式ファンドとなっています。(2011年12月末時点純資産総額比較:リッター調べ)

PCAアセットの代表取締役社長兼CEOであるフェリックス・パンは、本件に関し、次のようにコメントしています。

「世界経済が新たな成長と安定の枠組みを模索する中、とりわけ実体経済の成長が著しいアジア各国への投資妙味は更に高まると予想されます。このような投資環境下において、アジアの発展を基に急速に事業拡大をしてきた当社グループの資産運用事業部門が新ブランド、イーストスプリング・インベストメンツを掲げ、今まで以上の商品・サービスの提供と顧客満足と信頼を得るために生まれ変わります。定評あるアジアでの運用経験と実績を生かし、変容する金融市場と投資機会に応えるべく、新社名となって初

PRESS RELEASE

のファンドとなる『イーストスプリング・インドネシア債券オープン』を設定いたします。インドネシアの格上げに注目が集まる中、本ファンドが投資家の皆様のご期待に応えるファンドとして育つことを期待しております。」

なお、2009年11月30日に設定された「PCAインドネシア株式オープン」は2011年2月にモーニングスターアワード“Fund of the Year 2010”^{*4}の国際株式型部門において、最優秀ファンド賞を受賞しており、当社のインドネシアにおける投資、運用は外部から高い評価を受けております。

1月27日現在で確定している販売会社は、株式会社SBI証券、水戸証券株式会社、リテラ・クレア証券株式会社となっています。

注記:

- *1 インドネシア政府が50%以上出資している企業が発行する債券。
- *2 インドネシアで設立された企業またはインドネシアを中心に事業を営んでいる企業が発行する債券。
- *3 韓国(AMAK)、インド(AMFI)、シンガポール/マレーシア(Lipper)、日本(投資信託協会)、台湾(SITCA)、中国(Wind)が公表している当社グループ各社の運用資産総額を積算し、日本、韓国、インド、中国、台湾、シンガポール、マレーシアの各市場で最大級のグローバルな資産運用会社の運用資産総額と比較したものです。運用資産総額には公募ファンド、私募ファンド両方を含みます。当社グループの運用資産総額のうち、現地企業との合併企業分については、持分に応じて換算しています。
- *4 同賞は国内追加型株式投資信託を選考対象としてモーニングスター社が独自の定量分析、定性分析に基づき、2010年において各部門別に総合的に優秀であると判断したファンドに贈られるもので、2010年12月末日時点で運用期間が1年以上の当該部門に属するファンド557本の中から選考されました。モーニングスターアワード“Fund of the Year 2010”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

【PCAアセット・マネジメント株式会社 会社概要】—2011年6月末時点

- ◆ 設立: 1999年12月(ピーピーエム投信投資顧問株式会社設立)
- ◆ 資本金: 6億4,950万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号
- ◆ 加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: www.pcaasset.co.jp
- ◆ 運用資産残高: 約6,986億円

※PCAアセット・マネジメント株式会社は、世界有数の金融サービスグループを展開する英国プルデンシャル社(以下「最終親会社」)の間接子会社で、日本における資産運用会社です。最終親会社は160年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。資産運用事業はアジアでは10のマーケットに及び、最終親会社の運用資産は2011年6月30日現在約3,495億ポンド(約45兆円、1ポンド=128.76円)に上ります。なお、最終親会社およびPCAアセット・マネジメント株式会社は、主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とはなんら関係がありません。

【本プレスリリースに関して】

- ※ 当リリースは、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません
- ※ 当リリースは、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ※ 当リリースは信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ※ 当リリースの内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ※ 当リリースで使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ※ 投資信託は、預金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ※ 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ※ 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまの負担となります。